

**2010年3月期**（平成22年3月期）

# 決算経営報告

**PART - 1. 本決算 概要**

**PART - 2. 「対応強化施策」進捗状況**

2010年 5月18日  
三菱製紙株式会社

2010年3月期 決算実績

ならびに

2011年3月期 決算予想

2010年3月期  
決算実績

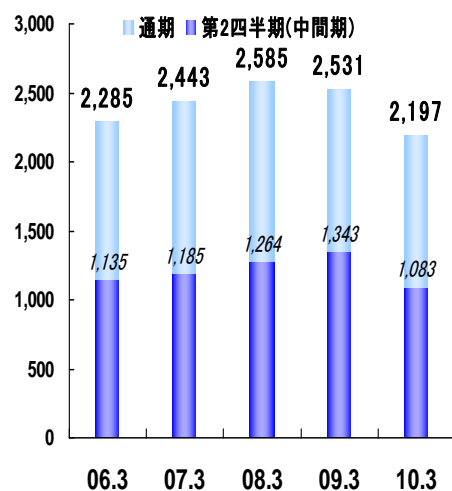
# 決算ハイライト <連結>



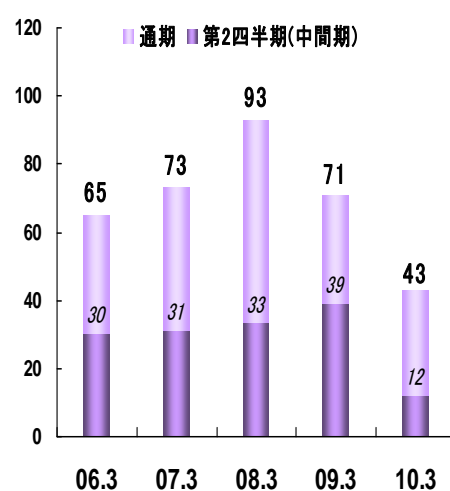
(単位: 億円)

	2009年3月期		2010年3月期		前年同期比	
	金額	売上高利益率(%)	金額	売上高利益率(%)	金額	増減率(%)
売上高	2,531	—	2,197	—	▲334	▲13.2
営業利益	71	2.8	43	1.9	▲28	▲40.2
経常利益	45	1.8	27	1.2	▲18	▲40.9
当期純利益	12	0.5	▲16	▲0.7	▲28	—

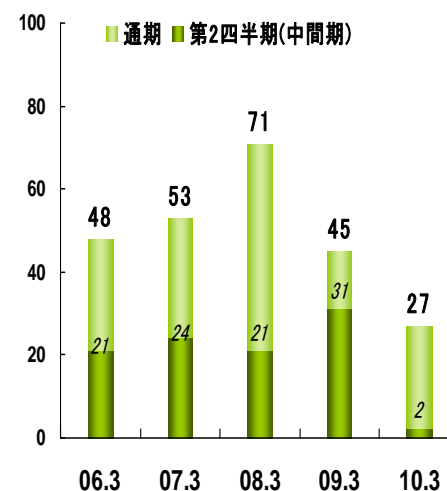
### 売上高



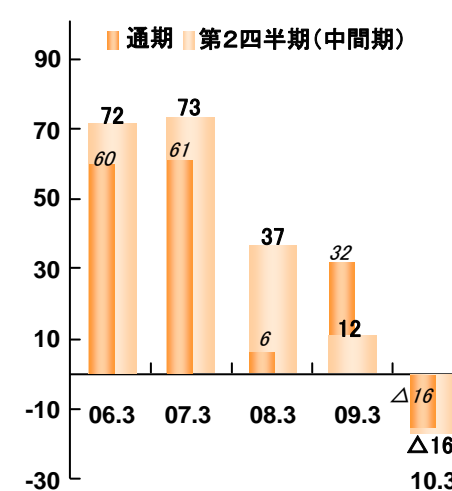
### 営業利益



### 経常利益



### 純利益



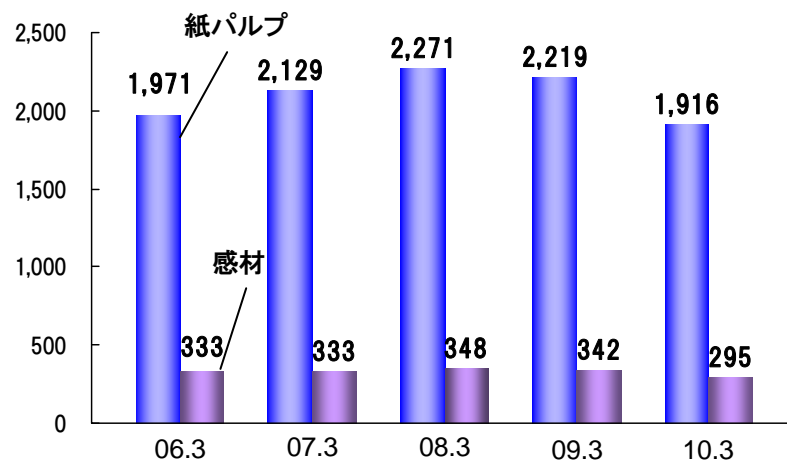
# 事業の種類別セグメント情報 <連結>



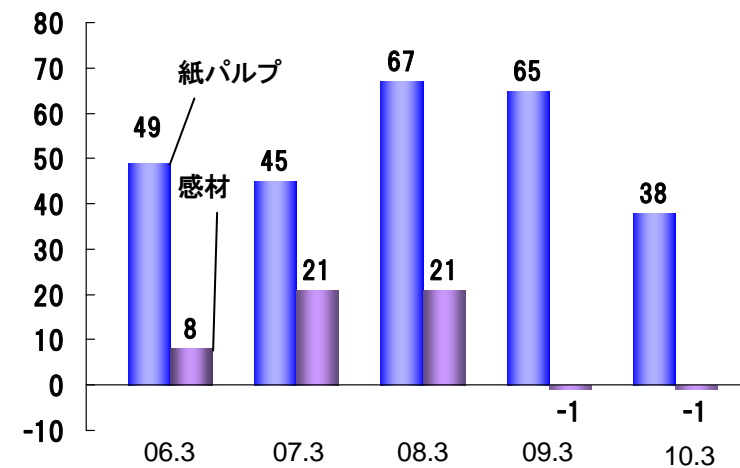
(単位: 億円 %)

		2009年3月期	2010年3月期	増減額	増減率
売上高	紙パルプ	2,219	1,916	▲303	▲13.7
	感材	342	295	▲47	▲13.6
	その他	216	200	▲16	▲7.5
	消去	▲246	▲214	32	—
	合計	2,531	2,197	▲334	▲13.2
営業利益	紙パルプ	65	38	▲27	▲42.6
	感材	▲1	▲1	0	—
	その他	5	5	0	▲7.1
	消去	2	1	▲1	—
	合計	71	43	▲28	▲40.2

売上高 (単位: 億円)



営業利益 (単位: 億円)



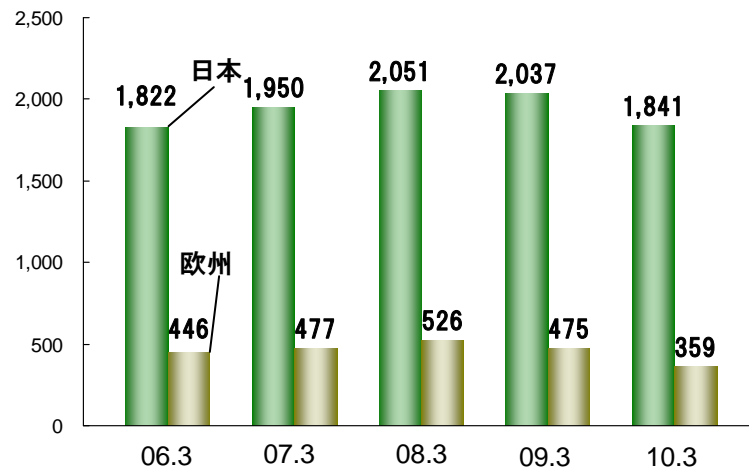
# 所在地別セグメント情報 <連結>



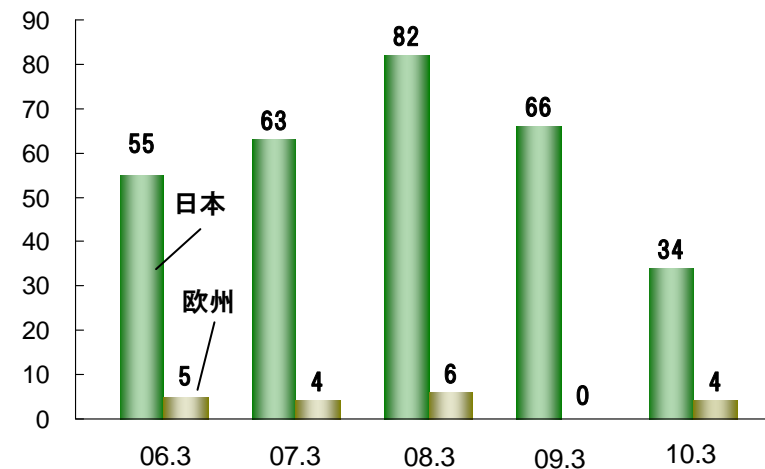
(単位: 億円 %)

		2009年3月期	2010年3月期	増減額	増減率
売上高	日本	2,037	1,841	▲196	▲9.6
	ヨーロッパ	475	359	▲116	▲24.4
	米国	81	69	▲12	▲14.4
	消去	▲62	▲72	▲10	—
	合計	2,531	2,197	▲334	▲13.2
営業利益	日本	66	34	▲32	▲48.0
	ヨーロッパ	0	4	4	—
	米国	1	1	0	▲16.5
	消去	4	4	0	—
	合計	71	43	▲28	▲40.2

売上高 (単位: 億円)



営業利益 (単位: 億円)



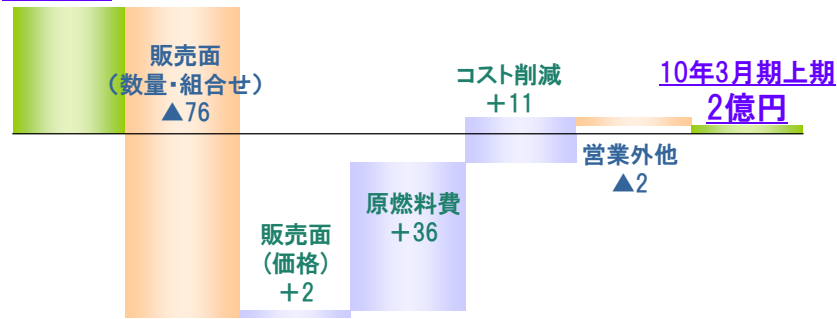
# 経常利益 増減要因 <上上・下下・通期>



上期比較

下期比較

09年3月期上期  
31億円



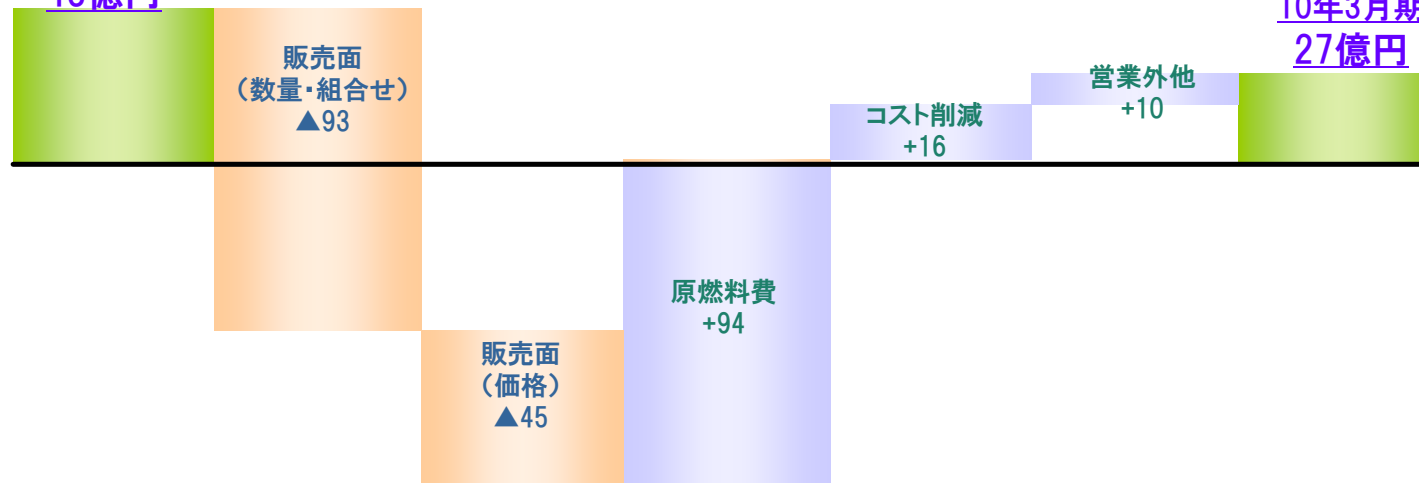
09年3月期下期  
14億円

10年3月期下期  
25億円



通期比較

09年3月期  
45億円



# 貸借対照表 <連結>



(単位: 億円 %)

	2009年3月末		2010年3月末		前期末比
	金額	構成比	金額	構成比	金額
<b>資産合計</b>	<b>2,943</b>	<b>100.0</b>	<b>2,821</b>	<b>100.0</b>	<b>▲122</b>
流動資産	1,166	39.6	1,105	39.2	▲ 61
固定資産	1,777	60.4	1,716	60.8	▲ 61
有形固定資産	1,362	46.3	1,294	45.9	▲ 68
無形固定資産	14	0.5	10	0.3	▲ 4
投資その他の資産	401	13.6	412	14.6	11
<b>負債合計</b>	<b>2,238</b>	<b>76.1</b>	<b>2,134</b>	<b>75.6</b>	<b>▲104</b>
流動負債	1,588	54.0	1,442	51.1	▲146
固定負債	650	22.1	692	24.5	42
<b>純資産</b>	<b>705</b>	<b>23.9</b>	<b>687</b>	<b>24.4</b>	<b>▲ 18</b>
<b>有利子負債</b>	<b>1,635</b>	<b>—</b>	<b>1,616</b>	<b>—</b>	<b>▲ 19</b>

# キャッシュ・フロー計算書 <連結>



(単位:億円)

	2009年3月期	2010年3月期	前期末比
	金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	42	150	108
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲123	▲ 83	40
財務活動によるキャッシュ・フロー	81	▲ 33	▲114
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	1	▲ 11
現金及び現金同等物の増減額	12	35	23
現金及び現金同等物の期首残高	23	35	12
現金及び現金同等物の期末残高	35	70	35



	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期(予想)
有利子負債	1,635億円	1,616億円	1,550億円
減価償却費	129億円	129億円	125億円
設備投資額	155億円	75億円	35億円
従業員数	4,577人	4,441人	4,370人

# 参考情報 <単体>



(単位: 千t・億円)

品種内訳		2009年3月期				2010年3月期			
		第2四半期累計期間		通期		第2四半期累計		通期	
		販売数量	販売金額	販売数量	販売金額	販売数量	販売金額	販売数量	販売金額
紙	非塗工紙(上級紙他)	92	113	179	221	79	98	164	198
	塗工紙 (コーテッド紙・IJ用紙他)	328	446	616	826	246	328	527	683
	情報用紙 (感熱紙・ノーカーボン紙他)	47	105	87	202	40	93	80	186
	板紙	24	27	45	53	22	27	46	55
	その他 (薄葉紙・家庭紙・不織布他)	9	50	17	98	8	43	16	93
合計		500	741	944	1,400	395	589	833	1,215

	2009年3月期	2010年3月期
為替レート(期中平均)	100.62円/US\$	93.04円/US\$
原木チップ使用数量 (輸入材比率)	1,217千t (66%)	1,070千t (66%)
購入パルプ使用数量 (購入比率)	71千t (9%)	46千t (7%)
重油使用量	47千kl	45千kl
石炭使用量	301千t	275千t
買電使用量 (自家発電比率)	276MWH (80%)	259MWH (79%)

注: 原燃料使用数量には北上ハイテクペーパー分を含みます。

2011年3月期  
決算予想

# 通期業績予想 <連結 上上・下下・通期比較>



(単位:億円 %)

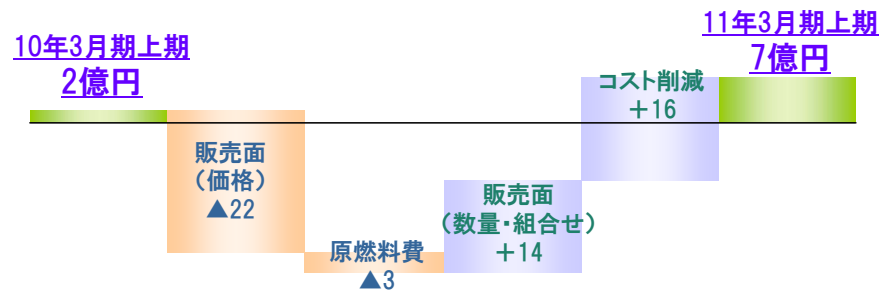
	2010年3月期			2011年3月期			前年同期比					
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期		下期		通期	
							金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
売上高	1,083	1,114	2,197	1,100	1,150	2,250	17	1.6	36	3.2	53	2.4
営業利益	12	31	43	17	43	60	5	41.0	12	41.1	17	41.1
経常利益	2	25	27	7	33	40	5	188.5	8	36.6	13	50.4
当期純利益	▲16	0	▲16	▲5	20	15	11	—	20	—	31	—

予想の前提: 1\$=90円、1ユーロ=130円、ドバイ原油相場1バレル=\$80

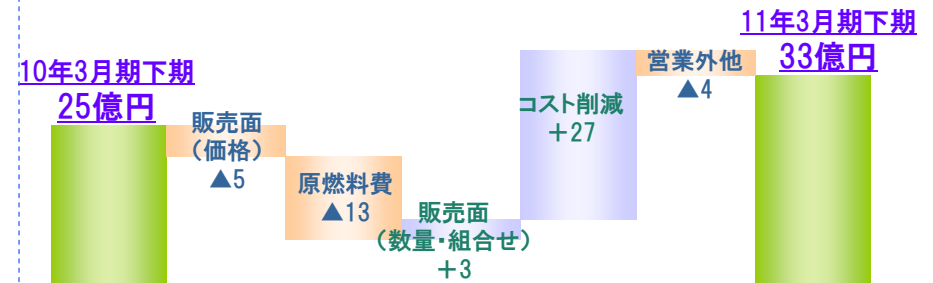
# 経常利益予想 増減要因 <上上・下下・通期>



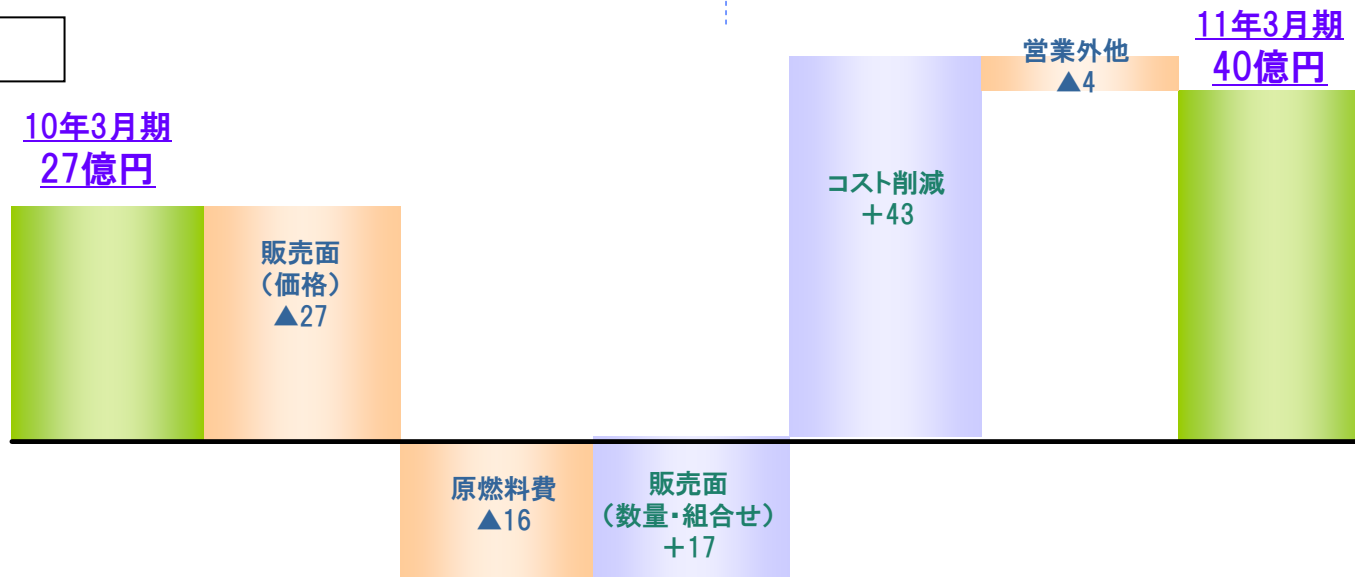
上期比較



下期比較



通期比較



— 厳しさを増す経営環境への対処 —

[ 対応強化施策 ]  
進捗状況

2010年 5月18日  
取締役社長 鈴木邦夫

# 7つの「対応強化施策」

(2009. 10. 30公表)

【2010、2011年度】  
09年度後半から取り組み開始

『規模』から  
『コスト競争力』『付加価値』へ

## 1 効率的生産体制

### 情報用紙拠点再配置

- 高砂12号抄紙機休止  
(原紙移管、パルプ購入減)
- KHP5号RC機休止

### I&D要員再配置

## 2 徹底したコストダウン

- I&D極限コスト構造
- 八戸、高砂コスト削減
- 洋紙物流コスト削減

## 3 本社費用大幅削減

- 研究体制合理化
- 本社関連会社コスト削減

## 7 アライアンス効果発現

- 富士フィルム提携
- 王子製紙情報用紙提携

## 6 海外事業安定化・活用

- ドイツ リストラクチャリング
- 中国事業拠点活用拡大

## 5 新規商品展開

- サーマルディジプレート拡販
- 新規IJメディア世界拡販
- 新機能不織布開発拡大

## 4 高付加価値化

- デジタルプリント対応用紙
- 各種新規アート紙開発展開
- FSC認証紙、間伐材利用

# 「対応強化施策」 ミッション



## ～ コスト削減の発現 ～

2010年3月期 (145期)

← 対応強化施策の前倒し分 5億円が寄与

効果:億円

	生産体制再構築	コストダウン推進	海外事業	要員合理化	その他 (エネルギー、償却費等)	計
2011年3月期 (146期)	5	11	6	11	10	43
2012年3月期 (147期)	4	12	3	6		25

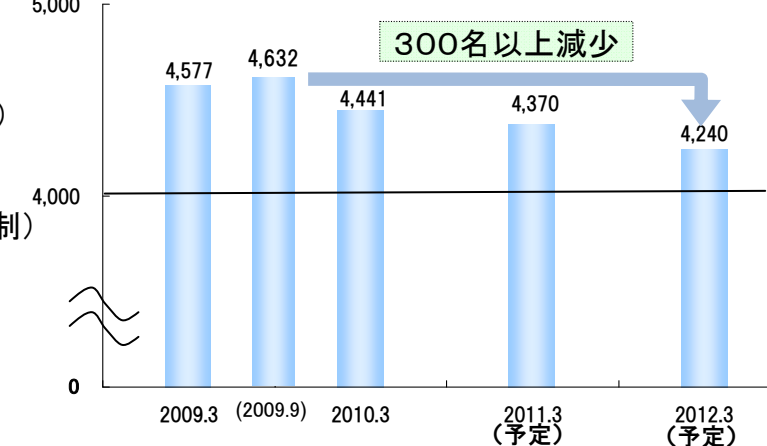
### 人員計画

ドイツ 120名 … 希望退職での減少  
(2009年に120名応募)

国内 180名 … 自然減による減少  
(定年退職者、採用抑制)

300名 の減少

単位:人 5,000 期末従業員数の推移 (今後2年は予定)



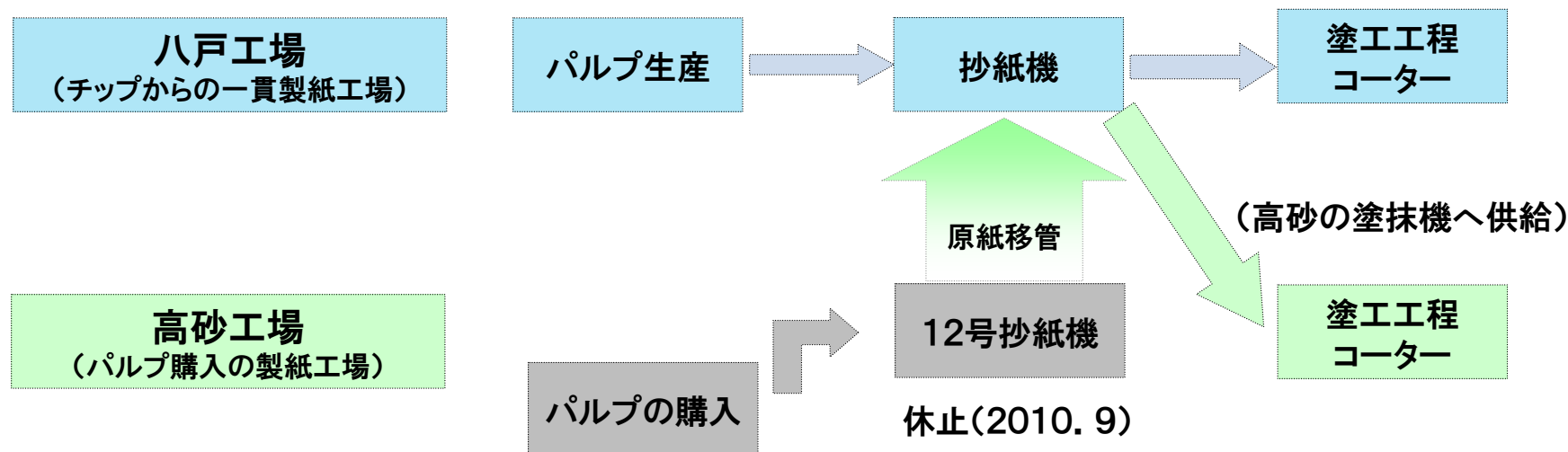


# 『洋紙事業』 施策進捗と展開 ①

## 減産から操業度向上へ

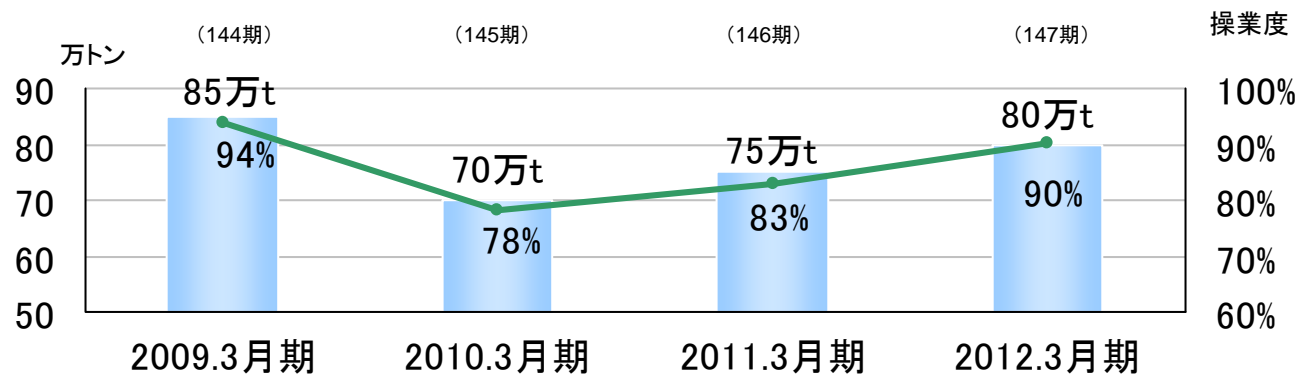
### 1. 生産体制再構築

- 情報用紙原紙の移管（ノーカーボン紙・感熱紙の原紙）



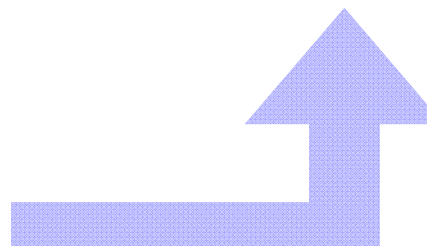
- 八戸工場 : 操業度向上、エネルギーコスト低減
- 高砂工場 : 購入パルプ大幅減、固定費削減

## 2. 八戸工場の操業度想定



## 3. 八戸工場操業度向上を目指して

- (1) 情報用紙原紙の移管
- (2) 輸出品の展開
- (3) デジタルプリント用紙の展開
- (4) 環境付加価値製品 (FSC等) の展開



## 4. 他社提携

王子製紙と情報用紙の提携を展開中

# 『I&D事業』 施策進捗と展開 ①

## ■ I&D事業（イメージング&ディベロップメントカンパニーが推進）

対象品目：インクジェット用紙、写真印画紙、印刷感光材料、レジンコート紙、  
各種機能材料（不織布・フィルター・リライトメディア等）、研究開発型商品、等

### 生産体制再構築（北上ハイテクペーパー）

新8号RC機を加え、  
3台の多機能レジンコーター態勢に集約  
→ 5号RC機を休止（2010.8月予定）

### リストラ・コストダウン・提携

1. I&Dカンパニーの要員削減（京都、北上、本社等）  
→ 計画に沿って進行
2. 富士フイルムと写真用原紙の提携を展開中



北上ハイテクペーパー

## 新製品開発

### 1. インクジェットメディア

I Jフォトブック パール光沢 I J など



### 2. 印刷製版材料

TDPとIDP：新興国での展開強化

TDP=サーマルディジプレート (感熱方式デジタル製版材料)

2009年度 日本印刷学会技術賞を受賞

IDP=インクジェットディジプレート (IJ方式デジタル製版材料)



## 機能材開発事業

### 1. フィルター事業を中心に展開中

### 2. 中国等、アジア市場での展開

中国珠海のフィルター加工事業所はフル生産

他事業への展開も検討(印刷版材の仕上げ、等)



## MPBにて抜本的リストラクチャリング

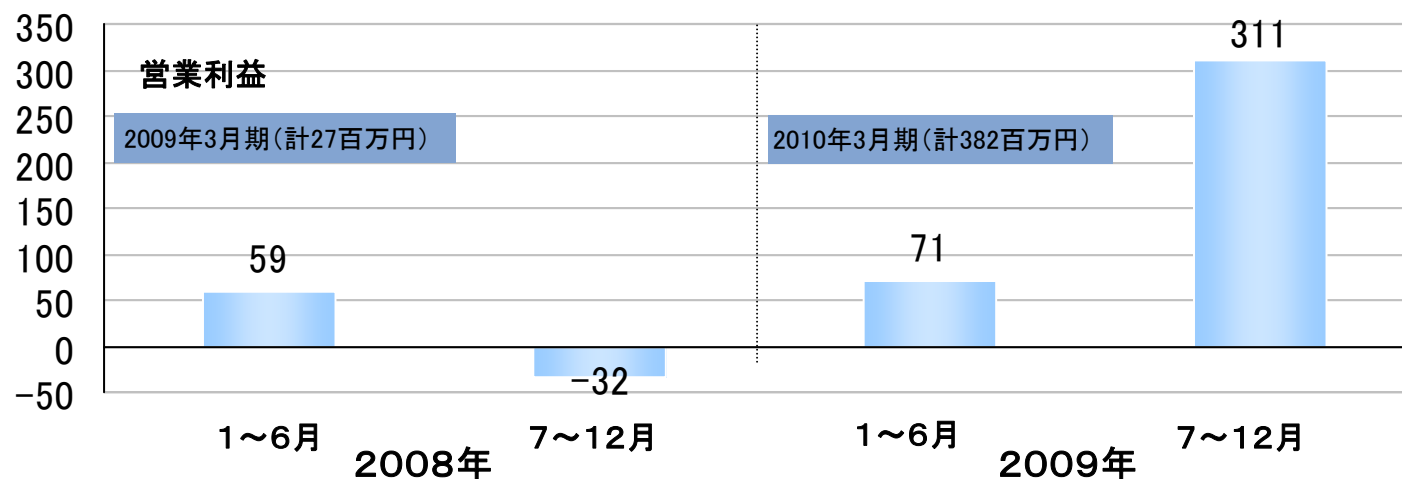
MPB : Mitsubishi HiTec Paper Bielefeld GMBH

1. 1号抄紙機(3万t/年)を09年7月末休止、現在 3号抄紙機(12万t/年)で運用
2. 全てのキャストコーター(4台)を09年8月休止
3. 2009年に120名の人員削減
4. 生產品種見直し、プロダクトミックス改善

### 1. リストラ効果と、欧州実需回復により、黒字定着した

単位:百万円

#### 【欧州セグメントの業績推移】



### 2. デジタルプリント用IJ用紙等の高付加価値品、生産性向上

本資料における予想数値や業績見通しに関する記述は、現時点における将来の経済環境予測や入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の実際の決算・業績数値とは異なる可能性があります。